

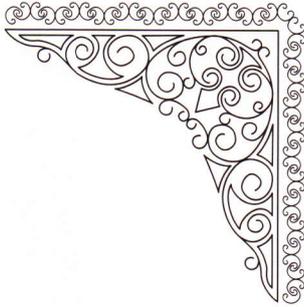
神戸大学交響楽団

第60回記念定期演奏会





PROGRAM



神戸大学交響楽団 第60回記念定期演奏会
Kobe University Symphony Orchestra 60th Regular Concert

楽劇「ニュルンベルクの
マイスタージンガー」前奏曲

ワーグナー

指揮 稲田侑一郎
コンサートマスター 池邊 正大

スペイン交響曲 二短調

ラロ

指揮 藏野 雅彦
コンサートミストレス 足立 美峰
ヴァイオリン独奏 ギオルギ・バプアゼ

交響曲第2番 ホ短調

ラフマニノフ

指揮 藏野 雅彦
コンサートミストレス 佐藤 綾香



2010年12月28日(火) 午後6時開演

ザ・シンフォニーホール

後援=兵庫県・神戸市民文化復興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社





客演指揮 藏野 雅彦 (くらの まさひこ)

京都市に生まれる。京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都堀川音楽高等学校）を経て東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

1992年ウクライナ・ナショナル交響楽団のキエフ市での定期演奏会で、マーラー交響曲第1番「巨人」、プロコフィエフ「ロメオとジュリエット」、芥川也寸志「弦楽のためのトリプティック」を指揮し大成功を収めプロデビューする。2001年京都市交響楽団との共演による京響市民合唱団公演でラター「マニフィカート」を指揮し好評を得た。また大文字国際交流音楽祭では「答えのない質問」等のアイヴズ作品（本邦初演を含む）を指揮。2002年文化庁派遣芸術家在外研修員としてオーストリア国立グラーツ芸術大学大学院指揮科に留学、マルティン・ジークハルト教授に師事。同時にグラーツ州立歌劇場でもフィリップ・ヨルダン氏のもとで研鑽を積む。さらに2002年から2003年には、大蔵流狂言、若林暢(VI)、都響、神奈川フィル、仙台フィル、大フィル、京響のメンバーとの共演でストラヴィンスキー“京風”「兵士の物語」を京都、東京、奈良の3都市で指揮し大きな話題を呼んだ。2004年ロシア国立ノヴォシビルスク・アカデミー交響楽団より招待され、マーラー、R. シュトラウス、芥川作品を指揮し満場の喝采とスタンディングオベーションを受けた。2006年兵庫県立芸術文化センター開館記念事業の一環として、中西覚氏作曲の県民創作オペラ「おさん茂兵衛丹波歌暦」を指揮し大成功を収めた。2008年高昌帥氏作曲の関西シティフィル委嘱作品「『あなたに』より～谷川俊太郎の詩によるソプラノ独唱、男声朗読とオーケストラの為の歌曲～」の初演を指揮し大好評を得た。2010年平野一郎氏作曲の八幡市委嘱作品「八幡縁起～オーケストラによる民俗誌～」の初演指揮を担当、聴衆、マスコミにも絶賛される大きな反響を呼んだ。

現在までにキエフ・シェフチェンコ国立歌劇場管弦楽団、ロシア・マリエル国立歌劇場、同歌劇場管弦楽団、ウクライナ・ナショナル交響楽団、ロシア国立ノヴォシビルスク・アカデミー交響楽団、京都市交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪市音楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとし多くのオーケストラを指揮し好評を博す。海外公演にはヴェルディ「椿姫」、プッチーニ「蝶々夫人」のオペラ公演の指揮も含まれ、いずれも非常に高い評価を受けた。

第13回京都芸術祭京都府知事賞受賞(1999)。

京都市教育委員会より第2回(2003)および第7回(2008)教育実践功績表彰。

指揮を小泉和裕、田中良和、伊吹新一、故遠藤雅古の各氏に師事。

現在、京都教育大学教育学部、同大学院非常勤講師、京都堀川音楽高等学校音楽科主任として後進の指導育成にも力を注いでいる。



ヴァイオリン独奏 ギオルギ・バブアゼ

61年グルジア国トビリシ生まれ。国立トビリシ音楽院にてヴァイオリンをシウカシュヴィリ教授に師事。また在学中よりモスクワにてボロディン弦楽四重奏団のベルリンスキー氏に弦楽四重奏を学ぶ。卒業後は研究科を経て大学院に進み、指揮法をオディセイ・ディミトリアディー氏に師事。同時に88年より2年間バトゥミ市交響楽団の指揮者を務める。90年よりグルジア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督および首席指揮者を務め、フランス、ドイツへ演奏旅行。93年にイタリアへ渡りオーケストラのヴァイオリン奏者として諸都市で演奏する傍ら、グルジア弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍。96年9月大阪シンフォニカー交響楽団のコンサートマスターとして来日。98年トビリシ弦楽四重奏団を結成。01年10月関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。02年4月より京都市立芸術大学ヴァイオリン専攻非常勤講師も務める。04年7月グルジアの保養地ボルジョミで開催された国際音楽祭に参加、グルジア国立室内合奏団を指揮し好評を得る。12月には同合奏団を率いてドイツ演奏旅行を成功させる。06年1月にはグルジア国立歌劇場の客演指揮者に就任し、ますますの活躍が期待されている。

— 神戸大学交響楽団との14年 —

1997年の大阪シンフォニカー交響楽団在籍中に、当時の神戸大学交響楽団員のオファーを受けて以来14年に渡り弦トレーナーを務めている。今までにも何回か神戸大学交響楽団との共演の話が出たが、実現したのは今回が初めてであり、14年間ずっと待ち焦がれた、記念すべき演目となる。

※トレーナーの先生方※

ギオルギ・バブアゼ (関西フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター)
徳田 知 希 (大阪交響楽団 首席トランペット奏者)
村瀬 司 (大阪交響楽団 首席クラリネット奏者)

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。